

歯科矯正学講座
(Department of Orthodontics)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. Morikuni H, Koseki T, Yotsui Y, Matsumoto N. Metallic artifacts on magnetic resonance images caused by multibracket appliances. *J Osaka Dent Univ* 2010 ; 44(1) : 13-21.
2. Kouchi T, Yotsui Y, Koseki T, Baba S*, Matsumoto N. Relationship between occlusal force and changes in the temporomandibular joint space observed on magnetic resonance images. *J Osaka Dent Univ* 2010 ; 44(1) : 23-39.
3. Hashimoto Y, Minoura S, Honda R, Nishiura A, Hashimoto Y, Matsumoto N, Takeda S. Development of titanium quartz crystal microbalance sensor by magnetron sputtering. *J Oral Tissue Engin* 2010 ; 8(1) : 52-59.
4. Inami K, Sawai H, Katao Y, Shishido M, Ujii Y, Shimozuma M, Nobata K, Domae N, Matsumoto N. Effect of long acting nitric oxide donors on the differentiation of osteoclasts derived from mouse bone marrow macrophages. *J Osaka Dent Univ* 2010 ; 44(2) : 133-138.
5. Baba S*, Inoue T*², Hashimoto Y, Kimura D, Ueda M, Sakai K, Matsumoto N, Hiwa T*³, Adachi Y*³, Hojo M*³. Effectiveness of scaffolds with pre-seeded mesenchymal stem cells in bone regeneration -Assessment of osteogenic ability of scaffolds implanted under the periosteum of the cranial bone of rats. *Dent Mater J* 2010 ; 29(6) : 673-681. (平成 19~22 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
6. Miyao S, Rensha H, Matsumoto N. Relationship between three-dimensional facial morphology and craniofacial morphology in normal occlusion. *J Osaka Dent Univ* 2010 ; 44(2) : 151-159.
7. 本田 領, 高木秀人, 山脇 裕, 蓮舎寛樹, 松本尚之. 成人矯正患者および成長期の矯正患者における必要咬合挙上量(IIDD) について. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2010 ; 45(1) : 26-31.
8. Minoura S, Hashimoto Y, Nishiura A, Honda R, Matsumoto N. Adsorption of salivary-related proteins on the surface of orthodontic materials evaluated using quartz crystal microbalance. *Nano Biomed* 2010 ; 2(2) : 114-122.

2) 学会発表

1. Ujii Y, Goda S, Domae E, Sakata T, Morita S, Matsumoto N, Kawasaki T, Hayashi H, Kato Y, Yamamoto K, Takeuchi O, Yasuo K, Yoshikawa Y, Tamura I, Kamada A, Ikeo T. Lipid rafts regulate RANKL signaling pathways in RAW264 cells. 第8回日本歯科骨粗鬆症研究会プログラム 2010:3.
2. 箕浦沙恵, 橋本典也, 本田 領, 西浦亜紀, 松本尚之, 武田昭二. QCM ナノセンサによる唾液関連タンパク質と歯科材料の吸着挙動. 日本歯科理工学会誌 2010; 29(2):126. (平成19~22年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
3. Uchihashi K, Sonoda Y, Naruse M, Fujimoto T, Nishikawa Y. Intraductal injection of botulinum toxin induces functional changes in rat submandibular gland cells. *J Physiol Sci* 2010; 60(Suppl. 1):S149.
4. 今井啓介, 藤本卓也, 高橋 誠, 玉井求宣, 大石建三*⁵, 西浦亜紀, 太田黒恵子*⁵. 改良を加えた逆U字切開法を用いた唇裂外鼻形成術とその評価. 日本口蓋裂学会雑誌 2010; 35(2):115.
5. 箕浦沙恵, 橋本典也, 西浦亜紀, 本田 領, 松本尚之. QCMによる歯科矯正用材料表面に対する唾液関連タンパク質の吸着挙動の解析. 歯科医学 2010; 73(3/4):88-89. (平成19~22年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
6. 高木秀人, 本田 領, 山脇 裕, 蓮舎寛樹, 松本尚之. 成人矯正患者におけるIIDD(必要咬合挙上量)について. 第52回近畿東海矯正歯科学会学術大会抄録集 2010:14.
7. Sakai K, Baba S, Yasui K, Arima Y, Matsumoto N. Effectiveness of 3D woven fabric composite scaffold in bone regeneration. *J Dent Res* 2010; 89(Special Issue B) [USB]: Program No.2067.
8. Sonoda Y, Uchihashi K, Matsumoto N. Response of salivary stress markers with orthodontic force. *J Dent Res* 2010; 89(Special Issue B) [USB]: Program No.2619.
9. Katao Y, Sawai H, Inami K, Shishido M, Domae N, Matsumoto N. The effects of estrogen on differentiation and apoptosis of osteoclasts. *J Dent Res* 2010; 89(Special Issue B) [USB]: Program No.3450.
10. Uchihashi K, Sonoda Y, Nishikawa Y. Botulinum toxin influences on nNOS in the rat submandibular gland. *J Dent Res* 2010; 89(Special Issue B) [USB]: Program No.2613.
11. 有馬良幸, 坂井加奈, 安井憲一郎, 橋本典也, 馬場俊輔*, 武田昭二, 松本尚之. ポリL乳酸三次元織物構造体スキャホールドと骨髄間葉系幹細胞を組み合わせた歯槽骨再生方法の可能性. 日本歯科産業学会誌 2010; 24(1):89. (平成19~22年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
12. Kubo H, Yoshimoto H, Ohnishi Y, Kakudo K, Mori Y, Nakajima M, Goto M, Nishiura A. Morphological characteristics and surgical procedure of hyperplasia of the tendon and aponeurosis of masticatory muscles (HyTAM). *Abstracts from the XXth Congress for the European Association of Cranio-Maxillo-Facial Surgery* 2010:951-952.
13. 松本尚之, 関 詔夫. 日本人骨格性Ⅱ級不正咬合における上下顎歯列咬合彎曲の中心の関係について. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:162.

14. 下間美沙, 飯田拓二, 松本尚之. 顎間ゴム装着時における外側翼突筋下頭の筋電図学的研究 第2報. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:167.
15. 角倉紗恵子, 井上 博, 西川泰央, 松本尚之. 破骨細胞前駆細胞における IL-17 の影響. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:200.
16. 薬師寺創太郎^{*6}, 橋本和俊, 永木恵美子. 頭部 X 線規格写真における後期高齢者女性と若年者女性の差異について. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:138.
17. 安井憲一郎, 坂井加奈, 有馬良幸, 馬場俊輔*, 橋本典也, 松本尚之. PRP および PPP と骨髄間葉系幹細胞を組み合わせた骨再性能の評価. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:209.
18. 橋本和俊, 薬師寺創太郎^{*6}, 永木恵美子. 頭部エックス線規格写真における後期高齢者男性と若年者男性との差異について. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:139.
19. 小島智子, 松本尚之, 内橋賢二, 西川泰央. 矯正装置装着時における唾液細胞の組織病理学的変化. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:162.
20. 蓮舎寛樹, 宮尾聖子, 永田雄己, 松本尚之. 曲率半径を用いた上顎前突者の三次元軟組織表面形態の評価. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:140.
21. 宮尾聖子, 蓮舎寛樹, 松本尚之. 正常咬合者における三次元顔面軟組織形態と顎顔面形態との関連性. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:140.
22. 氏井庸介, 川崎俊也, 合田征司, 池尾 隆, 松本尚之. エムドゲインが MMPs 産生に及ぼす影響. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:190.
23. 川崎俊也, 合田征司, 氏井庸介, 池尾 隆, 松本尚之. 骨芽細胞遊走に及ぼすエムドゲインの影響. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:191.
24. 宍戸美香, 澤井宏文, 居波 薫, 片尾祐子, 堂前尚親, 松本尚之. 実験的歯の移動における一酸化窒素 (NO) の影響. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:192.
25. 片尾祐子, 澤井宏文, 居波 薫, 堂前尚親, 松本尚之. 破骨細胞分化および成熟破骨細胞のアポトーシスに及ぼすエストロゲンの直接的影響. 第69回日本矯正歯科学会大会 第3回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010:194.

26. 小林大介, 本田 領, 山脇 裕, 蓮舎寛樹, 松本尚之. 成長期の矯正患者における IIDD (必要咬合挙上量) について. 第 69 回日本矯正歯科学会大会 第 3 回日韓ジョイントミーティングプログラム・抄録集 2010: 227.
27. 西浦亜紀, 松本尚之. 歯科矯正治療における垂直的コントロールについての考察 - 開咬症例と過蓋咬合症例 -. 第 24 回日本顎頭蓋機能学会学術大会プログラム・抄録集 2010: 56.
28. 蓮舎寛樹, 松本尚之. 曲率半径を用いた上顎前突者の三次元軟組織表面形態の評価. 第 24 回日本顎頭蓋機能学会学術大会プログラム・抄録集 2010: 58.
29. 片尾祐子, 澤井宏文, 居波 薫, 宍戸美香, 堂前尚親, 松本尚之. 破骨細胞分化および成熟破骨細胞のアポトーシスに及ぼすエストロゲンの直接的影響. 歯科医学 2010; 73(3/4): 91-92.
30. 胡内孝美, 古跡孝和, 四井資隆, 馬場俊輔, 松本尚之. MR 解析による咬合力とかみしめ時の顎関節空隙の変化. 歯科医学 2010; 73(1): 22.

臨床症例報告

1) 学会発表

1. 一ツ町淳子, 西浦亜紀, 神原敏之, 松本尚之. アングル II 級 2 類症例における過蓋咬合改善について. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 2010; 45(1): 56.

* 先端医療センター再生医療研究部
*2 財団法人先端医療センター歯槽骨再生研究グループ
*3 京都大学大学院工学研究科
*4 大阪市立総合医療センター形成外科
*5 大阪市立総合医療センター口腔外科
*6 薬師寺歯科矯正歯科